

# 農業の新しい技術

No. 650(平成24年5月)  
分類コード 02-05  
熊本県農林水産部

トルコギキョウ切り花は、  
花芽分化ができる態勢にある（RTF）苗の定植  
で、計画生産と秀品率の向上が図られる。

農業研究センター 農産園芸研究所花き研究室  
担当者：工藤陽史

## 研究のねらい

トルコギキョウは、抽だい後に花芽分化するため、抽だい開始時期の違いがその後の生育ステージのバラツキの要因となっている。また、高温・長日期の定植では、頂花の着花節が低く、切り花長の確保が難しい。一方、定植後は低温・短日に向かうため抽だい開始の遅延は、収穫期遅延の要因となっている。そこで、涼温下で育苗し花芽分化ができる態勢にある（Ready to Flower, 以下RTFと省略）苗を定植して、定植後の一定期間内に花芽分化させる計画生産技術の開発と秀品率の向上を図る。

## 研究の成果

1. 冷房育苗の昼温（8～18時）/夜温（20～6時）を育苗開始から4週間（本葉2対半展開）は28℃/20℃、育苗開始4週間後から8週間後までは26℃/18℃とすると、茎長0.7cm以下の抽だい苗となり、10月下旬に切り花長80cm以上、3輪開花の秀品を6割以上生産できる（表1、図1）。
2. 夜冷育苗（16～8時を15℃設定、8時間日長）で8週間育苗したRTF苗は、6週間育苗した慣行（本葉2対半展開）苗と比較して頂花着花節は高く、収穫日は早く、切り花長を確保した秀品率が高くなる（図2、図3、表2）。

以上のことから、トルコギキョウ切り花は、冷房育苗において慣行の昼温28℃/夜温20℃で本葉2対半のステージまで、その後は昼温26℃以下/夜温18℃以下とする2段階の温度管理で育苗したRTF苗の定植で、計画生産と秀品率の向上が図られる。

## 普及上の留意点

1. 種子冷蔵処理（吸水後、暗黒下、10℃）を35日間行う。
2. 本葉2対半展開以降を26℃より高い昼温環境下で育苗すると、抽だい後の茎と本葉の伸長が促進され、定植後の苗の倒れ、萎れの原因となる。
3. 本葉2対半展開以降は花芽分化の制御が出来る夜温（18℃以下）を保つ。
4. 老化苗とならないように育苗後期には、液肥を施用する。
5. 中晩生品種を用いた短日・夜間冷房育苗では、育苗期間延長でロゼット節が増加する。
6. 288穴セルトレーを用いた試験結果である。
7. 慣行育苗後の温度管理のための第2育苗施設が必要である。

表1 育苗後期を昼温26℃/夜温18℃で冷房育苗した苗の形質と切り花の秀品率

| 品種                | 定植時の苗            |             |            | 収穫日<br>(月/日) | 切り花の秀品率 (%) |      |             |      |     |
|-------------------|------------------|-------------|------------|--------------|-------------|------|-------------|------|-----|
|                   | 本葉<br>展開数<br>(対) | 抽だい率<br>(%) | 茎長<br>(cm) |              | 秀品 (3花2蕾以上) |      | 優品 (2花1蕾以上) |      | 下級品 |
|                   |                  |             |            |              | 80cm※       | 70cm | 80cm        | 70cm |     |
| 「パレオピンク」<br>(中晩生) | 3.5              | 66.7        | 0~0.6      | 10/24±1.3    | 65.5        | 0    | 34.5        | 0    | 0   |
| 「海ほのか」<br>(中生)    | 4.0              | 100         | 0.1~0.7    | 10/24±3.9    | 66.7        | 4.8  | 19.0        | 9.5  | 0   |

※切り花長(切り口から開花小花の先端までの長さ)

定植日 H23.8.10

栽培中に頂花と1次小花(1次側枝頂花)は摘蕾

n=24



図1 2段階温度管理で8週間育苗した苗

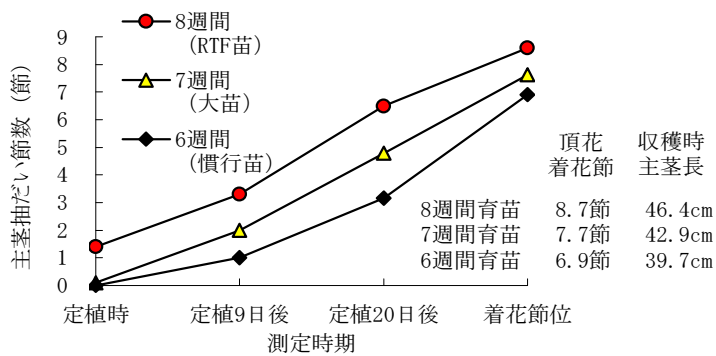


図2 夜間冷房育苗における育苗期間の違う苗定植が主茎抽だい節数の推移と着花節位に及ぼす影響

※品種 : 「ボレロホワイト」 (中早生)

定植日 : H23.8.24

n=24

図3 夜間冷房育苗における育苗期間の違う苗定植が定植から発蕾までと収穫までの期間に及ぼす影響

※品種 : 「ボレロホワイト」 (中早生)

定植日 : H23.8.24

n=24

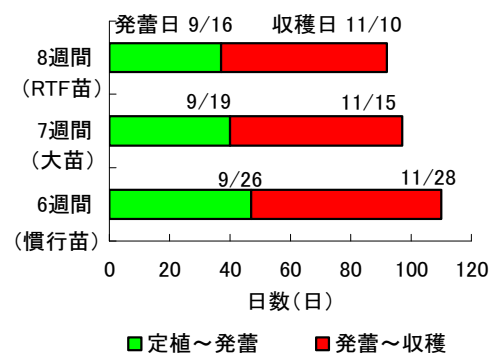


表2 夜間冷房育苗における育苗期間の違いによる苗の形質と切り花の秀品率

| 育苗期間       | 定植時の苗            |             | 切り花の秀品率 (%) |      |             |      |     |
|------------|------------------|-------------|-------------|------|-------------|------|-----|
|            | 本葉<br>展開数<br>(対) | 抽だい率<br>(%) | 秀品 (3花2蕾以上) |      | 優品 (2花1蕾以上) |      | 下級品 |
|            |                  |             | 80cm※       | 70cm | 80cm        | 70cm |     |
| 8週間 (RTF苗) | 4.4              | 100         | 72.0        | 24.0 | 4.0         | 0    | 0   |
| 7週間 (大苗)   | 3.2              | 8.3         | 56.0        | 32.0 | 8.0         | 4.0  | 0   |
| 6週間 (慣行苗)  | 2.3              | 0           | 4.5         | 45.5 | 0           | 40.9 | 9.1 |

※切り花長(切り口から開花小花の先端までの長さ)

品種 「ボレロホワイト」

定植日 H23.8.24、n=24、栽培中に頂花と1次小花(1次側枝頂花)は摘蕾

夜間冷房育苗 : 16~8時、設定温度15℃、8時間日長)